



水海道国際交流友の会

楽しく交流できるまちを目指して

水海道国際交流友の会とは？

国際交流に興味があり、外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会をつくりたいと考え、男女共同参画推進を目的とした海外派遣事業へ参加した4人で平成2年に設立しました。毎週開講する日本語学習をはじめ、さまざまな国の料理をふるまう市民文化祭等へも参加するなど、異文化交流活動を行っています。

会長の荒井さんは、「日本語学習をとおして、外国人の方とふれあい、交流することで、彼らが楽しく暮らせるようにしたい」と話していました。

地域貢献活動について

毎週火曜日に日本語学習を開催しています。受講生の国籍は、ブラジルやベトナムなど様々です。

設立当初から30年以上継続してきたことが自信となり、コロナ禍の影響で受講生が少ないなかでも、一人ひとりのレベルに合わせ、1対1の個別指導を行うなど、日本語を学びたいと希望する受講生のために休まず開講しています。受講生からは、「会社や近所の人と話せてコミュニケーションが取れるようになってきた」とうれしいお話しも届いています。

目指すまちのすがた

言葉を覚えるだけでなく、日本と母国それぞれの文化や習慣などの意見交換を行い、お互いの理解を深めています。さらに、日本の生活に必要なルールやマナーを学び、自ら考え行動できる人材を育成しています。受講生の中には、職場の要職に就いた方やさらに学びを深めたいと夜間中学へ入学した方もいるなど、幅広い人材が活躍する地域に根ざした学習の場となっています。

今後は、日本語学習をきっかけに、お互いの文化を理解し地域社会の担い手として活躍できるまちを目指していきます。

団体概要

団体名：水海道国際交流友の会
会長：荒井 文枝(090-9966-2198)
興味のある方は、ご連絡ください。



日本語学習の様子

◆問い合わせ＝☎市民と共に考える課(内線2110)



あすなろのひなまつり

水海道あすなろの里では2月5日から2月27日まで、ひな人形や吊るし飾り、市内のこども園の子どもたちの作品を展示しました。



二葉こども園の子どもたちの作品



見事に飾られたひな人形

常住人口のうごき(令和4年2月1日現在)※()内は前月比
男30,168人(+17)/女30,026人(-29)/合計60,194人(-12)
外国籍住民5,574人(+25)/世帯数22,692世帯(+39)

